

※今月のみ受注の書目です。

民事訴訟法

外国判決の承認と執行

(2025 年 4 月上旬刊行予定)

芳賀雅顯（慶應義塾大学大学院法務研究科教授）[著]

A5 上製／672 頁 税込予価 9,350 円 ISBN978-4-7664-3029-5 C3032

👉 ココに注目！

- ・国際化する民事訴訟に対応する研究書。
- ・海外における判決は日本国内でどう承認され、執行されるのか。
- ・外国判決承認の要件・効果、執行手続まで一連の論点をカバー。

民事紛争において外国で下された判決が、日本で承認されるケースと、その効果について検討した前版『外国判決の承認』（2018 年）。今回は、外国での判決が国内で承認された後、実効性をもつために重要となる「執行」に関する研究を新たに追加し、実効的な解決の更なる基盤を提供する。

対象 研究者・大学院生（民事訴訟法、国際民事訴訟法、国際私法）

類書 増田晋『環太平洋諸国（日・韓・中・米・豪）における外国判決の承認・執行の現状』（商事法務）

【営業部からのおすすめポイント】

海外に支社を有する大手法律事務所が増加していることから分かるように、民事裁判も国際化する傾向が顕著です。しかし国が違えば法や裁判も異なります。日本の民事訴訟法 118 条は外国判決の承認という規定を置き、実効的な手段として機能しています。本書では外国判決の承認の要件・効果論を整理し、その次にある執行の理論的基礎まで細かに検討。国際化傾向にある現在でも研究・教科書が少ないため、実務的にも最も求められている研究の 1 つです。

（吉川）

👉 主要目次、注文書は裏面に掲載！ ぜひご確認ください！

【主要目次】

はしがき

第Ⅰ部 総論

第1章 序論

第2章 わが国における外国判決承認制度の歴史的概観

第Ⅱ部 要件論

第1章 間接的一般管轄

第1節 外国判決承認要件としての国際裁判管轄

第2節 米国判決の承認と国際裁判管轄 ——いわゆる不統一法国の間接管轄

第2章 送達

第1節 外国判決承認要件としての送達

第2節 涉外訴訟における付郵便送達の適法性

第3章 公序

第1節 外国判決の承認と公序

第2節 懲罰的損害賠償を命ずる外国判決の承認

第3節 国際民事訴訟における判決の抵触と公序

第4節 国際民事訴訟における判決抵触の意義——既判力の抵触との関係

第4章 外国判決承認要件としての相互保証

第Ⅲ部 効果論

第1章 外国判決の効力——総論的考察

第2章 外国判決不承認による不当利得——国際司法摩擦との相克

第3章 訴え却下判決の国際的効力——国際裁判管轄を否定した外国判決の効力をめぐって

第3章補論 訴え却下判決の既判力をめぐる国内訴訟法の議論との関係

第Ⅳ部 ハーグ条約との関係

ハーグ管轄合意条約およびハーグ判決条約の意義と日本の批准の可能性

第Ⅴ部 法律要件的効力

外国での訴え提起と消滅時効の中断

第Ⅵ部 外国判決の執行

第1章 執行行為の属地性と国際的効力

第2章 執行判決訴訟の法的性質について

第3章 執行判決訴訟の訴訟物と既判力の客観的範囲

第Ⅶ部 まとめ



ご注文は FAX で！ 03－3451－3124



新刊委託	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
			芳賀雅顯 著 外国判決の承認と執行 ISBN978-4-7664-3029-5 C3032	9,350 円	★★

★1つで「500部」を表します